

日本思想史研究会

活動目的

日本思想史という基礎軸をもとに宗教、政治、社会、経済など歴史からより幅広い分野に渡る、一国史を超えた歴史学を研究すること

代表：KIM Nahyeon（文研 D3）

副代表：山村洸貴（先端研）



今年度日本思想史研究会会員の皆様

研究会例会

- ・基本 ZOOM&会場によるハイブリッド開催
- ・個人の研究報告はもちろん、文献の輪読、特別研究会など。

・春学期（5～8月）

基本文献や史料の輪読。場合によっては個人の研究報告を行う。

・秋学期（10～1月）

個人の研究成果報告。上記のとおり、ZOOMと会場両方でのハイブリッド開催を実行しているため、場所を問わずに参加可能。

・例会は基本火曜日17時より開催。報告者の都合に合わせて変更可能。

・夏休み・冬休みで特別研究会の開催可能性あり。

主な研究内容

嶋津麻穂 大正期における文学的史学の諸相

KIM Nahyeon 阪谷朗廬資料再考

湯林鑫 大正デモクラシーと孟子問題——『東亜研究』と『斯文』の言説を中心に

山崎翔吾 言霊の幕末・明治——堀秀成と「ウ」の音を中心に

山村洸貴 大正期における「生命主義」という語の使用例—福来友吉『生命主義の信仰』を中心に—

特別研究会

西日本思想史研究会との共同研究会開催！横のつながりを作るため、研究者個人の交流はもちろん、各研究会から研究報告を行い学会の現状を把握。



2025/08/02 特別共同研究会にて

会誌の発行

・『日本思想史研究会会報』第42号の発行準備中……（詳細は三月以降）